

# 平成25年度予算見積調書

課室名：障害者福祉推進課  
 担当名：総務・障害福祉担当  
 内線：3315

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B59	高次脳機能障害支援事業費		一般会計	民生費	社会福祉費	障害者福祉費	高次脳機能障害者支援事業費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	障害者自立支援法（障害者総合支援法）		戦略項目			
					分野施策	020203 障害者の自立・生活支援		
1 事業概要			5 事業説明					
高次脳機能障害者及び家族に対する支援等を行うための相談事業や研修会の開催、地域支援のための事業などを行う。 (1) 高次脳機能障害者相談事業 5,543千円 (2) 高次脳機能障害者支援体制推進事業 844千円 (3) 高次脳機能障害専門研修等充実事業 422千円 (4) 高次脳機能障害者地域支援事業 2,006千円			(1) 事業内容 ア 高次脳機能障害者相談事業 相談・医学的診断等のための非常勤職員・精神科医等雇用、相談等事業的経費 5,543千円 イ 高次脳機能者支援体制推進事業 セミナー及び研修会開催等のための講師謝金、会場使用料等 844千円 ウ 高次脳機能障害専門研修等充実事業 医療関係者向けの研修会開催のための講師謝金、会場使用料等 422千円 エ 高次脳機能障害者地域支援事業 ピア・カウンセリング事業に係る委託料 2,006千円 (2) 事業計画 ア 高次脳機能障害支援拠点機関である総合リハビリテーションセンターにおいて、高次脳機能障害者・家族・関係機関からの相談に応じて助言・情報提供などをするとともに医学的診断・評価などを行う。 イ 県民の方対象のセミナーの開催、市町村・関係機関等職員対象の研修会などを行う。 ウ 高次脳機能障害についての診断・評価・助言等ができるよう医療関係者向けの研修会を開催する。 エ 地域における高次脳機能障害者・家族に対する支援の一環として、当事者・家族がその体験等に基づき相談に応じて、助言や情報提供などを行い、相談者の自己解決の助力や不安の軽減などを図るピア・カウンセリング事業を委託により行う。 (3) 事業効果 高次脳機能障害者や家族の負担の軽減や安心した地域生活につながり、福祉の向上が図られる。 ・相談件数(埼玉県高次脳機能障害者支援センター) 平成23年度 1,807件 ・県民セミナー参加者 平成21年度 350人・平成22年度 200人・平成23年度 250人 ・医療機関者向け研修会 平成21年度 400人・平成22年度 308人・平成23年度 431人 (4) 県民・民間活力・職員のパワーの活用、他団体との連携状況 ピア・カウンセリング事業を家族会に委託して実施する。 (5) その他 平成23年4月に総合リハビリテーションセンター内に埼玉県高次脳機能障害者支援センターを開設。					
2 事業主体及び負担区分 (国1/2、県1/2)								
3 地方財政措置の状況 なし								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円								
			財 源 内 訳					
予算額		国庫支出金	諸収入				一般財源	前年との 対比
決定額	8,815	4,398	12				4,405	0
前年額	8,815	4,398	12				4,405	